

1 基本項目	事務事業名	図書館資料収集保存提供事業				担当部署	課等名	図書館
	予算事業名	資料収集保存事業					係名	図書係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-0462
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり			項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進			目	図書館費	
		基本事業名	基本事業30-1. 学び続ける環境づくり			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
		根拠法令	図書館法第3条第1項第1号~第4号			総合戦略との関連	関連なし	
		アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者へ提供する。
	対象	市民及び図書館利用者
	手段(活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。
	意図(成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが増加する。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 市民	人	43,152	42,706	42,614	42,340	99.4%	42,317	
	② 図書館利用登録者数	人	25,384	26,385	26,500	27,347	103.2%	27,500	
	成果	① 入館者数	人	213,923	204,963	210,000	206,695	98.4%	210,000
		② 貸出冊数(個人)	冊	298,269	276,621	280,000	272,510	97.3%	280,000

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	14,177,197	14,195,555	14,693,000	14,636,270	3.1%	14,156,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	4,483	2,230	10,000	554,541	24767.3%	310,000
	⑤一般財源	円	14,172,714	14,193,325	14,683,000	14,081,729	-0.8%	13,846,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	②年間所要時間	時間	2,800	3,200	2,800	3,600	12.5%	3,600
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	11,275,600	12,886,400	11,275,600	14,497,200	12.5%	14,497,200
総費用(A+B)	円	25,452,797	27,081,955	25,968,600	29,133,470	7.6%	28,653,200	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者へ提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。 H28年度から雑誌スポンサー制度を開始し、収集経費の削減を図った。	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	計画どおり事業を実施しながら、さらに資料の充実と市民への提供を進めたい。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	図書館教養・普及事業				担当部署	課等名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業					係名	図書係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度	当面維持	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	図書館費	
		基本事業名	基本事業30-1. 学び続ける環境づくり				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令	図書館法第3条第1項第6号				総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	図書館教室(古文書解説会・読書会など)や文学講座・歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催						
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方						
	手段(活動指標)	図書館映画上映事業、文学講座、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、読み聞かせ講習会、図書館教室(古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、川柳教室)、図書館コンサート						
	意図(成果指標)	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 図書館教室開講数	件	53	44	50	48	96.0%	50	
	② おはなし会開催数	件	61	62	60	63	105.0%	60	
	成果	① 図書館教室参加人数	人	550	279	300	393	131.0%	350
		② おはなし会参加人数	人	1,243	967	1,000	1,207	120.7%	1,100

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	449,701	153,697	238,000	186,491	21.3%	236,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	7,040	0	0	0		30,000
	⑤一般財源	円	442,661	153,697	238,000	186,491	21.3%	206,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	②年間所要時間	時間	3,000	2,600	3,000	2,600	0.0%	2,600
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	12,081,000	10,470,200	12,081,000	10,470,200	0.0%	10,470,200
総費用(A+B)	円	12,530,701	10,623,897	12,319,000	10,656,691	0.3%	10,706,200	

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	図書館教室(古文書解説会・読書会など)や文学講座・歴史講座、お話し会、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。 また、新たに、読み聞かせボランティアの技術向上を図るため、読み聞かせ講習会を開催した。						

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	A	A	特に問題なし	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	1 高い	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	①コスト効率	1 高い	②実施主体の適正化	1 適正である
2次評価	不要							
今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止							
				図書館の郷土資料を活用し、講座等を開催するとともに、周知に努め、参加者数の増加を図りたい。				